

オムロン株式会社 ESG説明会 質疑応答 (サマリー) (2020年2月17日 東京)

<ガバナンス>

Q：サステナビリティの取り組みを役員報酬にどのように組み込んでいるか。

A：役員報酬は定額の基本報酬、短期業績連動報酬、中長期業績連動の株式報酬の3つで構成されており、中長期連動報酬にサステナビリティ評価を組み込んでいる。具体的にはDJSIワールドへの選出を目標にしている。3つのウェイトは、役職によって異なるが、代表取締役社長では「基本：短期：中長期＝1：1：1.5」としている。

<人財>

Q：取締役における外国人登用について、どのように考えているか。

A：ダイバーシティは課題の1つと考えている。居住地などの制約もあるためハードルは高いが今後検討していきたい。なお社外取締役の選定については、企業経営の経験と実績があることを重視している。

Q：女性管理職比率向上に向けて、どのように考えているか。

A：2020年度に国内の女性管理職比率8%という目標を掲げているが、現在は5%程度。まずは8%の目標達成を目指す。この数字に決して満足することなく、グローバルで中長期的に女性管理職比率を向上させていきたい。

<環境>

Q：CDPIによる評価が「A-」となっているが、「A」に向上することはできないのか。

A：現時点では難しいと考えている。シナリオ分析に基づいた事業のリスクと機会について公表できていないこともあり、まだやるべきことが残っていると考えている。

Q：「RE100」への加盟は検討していないのか。

A：現時点では計画していない。まずは省エネ・再エネの取り組みをしっかりとやりきりたい。

<その他>

Q：新型肺炎の感染拡大を受けて、ヘルスケア事業が中国でどのような取り組みをしているか教えてほしい

A：中国・大連にある工場では、地域政府からの要請もあり、体温計やネブライザの生産・供給のため、2月4日から一部操業再開。2月10日には全面的に再開し、生産ラインはすでにフル稼働に近い状態まで戻っている。